

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形螺子工業株式会社

村山市にある山形螺子工業株式会社の工藤孝人さん取材しました！
工藤さんは、山形県立村山農業高校を卒業した後、2008年に入社しました。
現在は、製造課でマシンオペレーターとして勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか？

簡単に言うと機械で切削加工をして、機械部品を作る仕事をしています。4メートルほどの1本の棒から部品を作るのですが、まず、棒をだいたいのイメージに合うように粗削りをしていくのが私の仕事です。その後の工程になると、図面に合わせてより精密に加工するのですが、私はその前工程の部分を担当しています。



——どのような製品を作っているのですか？

会社名に「螺子（注：らし、ねじと読むこともある）」とありますが、ねじそのものは作っていません。今は、建設機械の油圧部品が主です。その他には、産業機械用部品、自動車部品があり、その3つが当社の柱です。

常務の笠原さん：油圧部品は、油を小さな力でグッと押すと強い力で持ち上がるというパスカルの原理を利用したもので、建設機械のアームなどは油圧でコントロールしています。そのコントロールバルブという油の圧力を調整する部品が、当社の主な製品です。油圧は自動車にも使われていて、私たちが作っているものは地味ですが、実際の生活では非常に重要で役立っている部品です。

——その部品がいろいろなところで使われているのですね。

そうですね。しかも1台の建設機械に1個ではなくて何個も使われますので、当社ではその部品を月に50万個くらい作ります。自動機を使いながら、もうひっきりなしに作っている状態ですね。

大量の受注をこなすために、昼も夜も交代で生産していて、私も2週間交代で夜勤をしています。受注してからお客様に納めるまでに3日くらいしかありませんので、機械の調子が悪かったりすると残業になることもあります。



——工藤さんはどんな機械を担当しているのですか？

六軸自動盤といって、1970年代から使われている機械です。私が入社するずっと前から大事にメンテナンスされて使われてきたものです。他には、NZXシリーズといった最新のコンピュータ制御の複合加工機も使っています。

——機械の使い方を覚えるのは、大変ではありませんでしたか？



今の工程を担当するようになって2年程ですが、覚えるまでかなりかかりましたね。数字とか言葉に表せないような機械の癖みたいなものがありますし、気温によっても機械や油の状態が変化しますから。

ベテランの先輩に何回もわからないことを詳しく聞きながらやりましたね。

——最新の機械も使われているということでしたが、新しい機械と古い機械では覚えることも違うのでしょうか？

古い機械とは違った操作を覚えなければいけないので、慣れるまでは大変ですね。

それにコンピュータ制御の機械といっても、セットすればあとは勝手に動いてくれるというわけではありません。やはり気温の違いには気を付けなければなりませんし、例えばお盆休みのように長期間機械を止めた後は、同じ設定で入力しても微妙に動きが変わるのでかなり気を使ってチェックしています。

——新しい機械の使い方を覚えたりするために、どのような研修をしているのですか？

基本的にはOJT（On the Job Training: 職場内訓練）です。社外での研修もありますが、やっぱり自社の機械を使うことが大事だと思います。ものの作り方や発想は人によって違いますし、それによって機械の動かし方も違ってきます。その工程作りが「技術」と呼べるとは思いますが、先輩からその考え方や機械の使い方を一つ一つ教えてもらって、経験することで技術は身についていくと思います。

(2) 職場編

——工藤さんが山形螺子工業に就職することになったきっかけを教えてください。

機械関係に興味があったことと、自宅から通える距離だったからです。高校に、山形螺子工業の求人票が貼られていて、家から近く機械関係の仕事だからいいなと思ったという流れです。



——高校は園芸科ということですが、機械を好きになったのはどうしてでしょうか？

高校3年で就職を考えたときに、自分は何が好きかを考えたんですね。高校3年間は園芸の勉強をしてきましたが、やっぱり自分は車とか機械加工の方が好きだなと思いました。

笠原さん：当社では、機械科出身だからというよりも、工藤くんのように、自分の適性を見極めてほしいと思っています。出身がどこかよりも、やっぱり機械が好きだという人の方がぴたっとはまることが多いです。

——入社してからこれまで、いろいろな工程を経験してきたのですか？

そうですね。結構いろいろな工程を担当してきました。今は4つの機械を担当しています。

笠原さん：当社では、「多能工化」※を教育の目標にしています。なぜかという、最終的には休暇取得100%を目標にしているからです。誰かが休んだときに、その人しかそのラインの仕事ができる人がいません、というわけにはいきません。数種類のラインを経験してもらって、いくつかのラインができる人がたくさんいれば、会社全体としてはうまく回りますし、そして社員も休みを取りやすくなります。



※一人の従業員が複数の技術を身につけて、複数の工程を担当できるようにすること

——休暇というお話が出ましたが、子育てとの両立という点からみて、働きやすさはいかがですか？



私には3歳の子供がいますが、子供が熱を出すといろいろありますので、当社は有給休暇や看護休暇が取りやすいのでとても助かっています。この前も看護休暇を取得しました。

育児休業に関しては、私は取得していませんが、男性の中にも半年くらい取得する人もいます。

笠原さん：男性にも育児休業を取りたい人には取ってもらうことが本来あるべき姿だと思います。やっぱり最初、男性はなかなか取得しようとしてくれなくて、こちらからいろいろ働きかけて、1年くらい前に取得する人が初めて出ました。その人が先陣を切ってくれたおかげで、「じゃあ俺も取ってみようかな」という人が出て来ています。

——そういったことに会社をあげて取り組んでいるのですね。

笠原さん：そうです。社会の要請にしっかり応えていかなくてはならないので、社員には休暇をとってくれと勧めていますね。そういうふうにしないと、社員を採用するときも、「我々はこんなにいい会社だから来てください」と自信をもって言えなくなりますので。



(3) ある日の過ごし方編

●8:00 【出社】

制服に着替え、各班で朝礼をします。

●9:00 【業務開始】

チェックシートに記入しながら機械の状態を確認します。

午前の作業のため、刃具交換の準備をします。



●12:00 【お昼休憩】

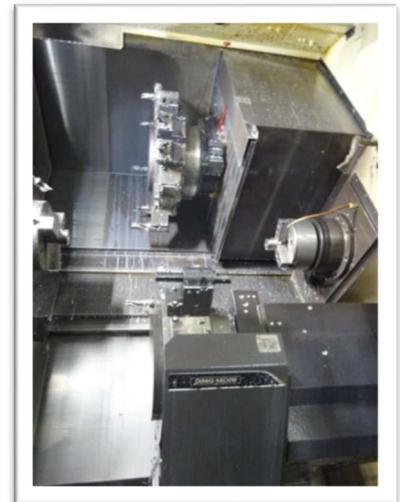
妻が作ってくれた弁当を持参しています。食事が終わったら、横になります。

●13:00 【午後の業務開始】

製品の寸法チェックと箱詰めをします。

●14:00 【刃具交換作業】

午後の作業のため、刃具交換の準備をします。



●16:00 【機械チェック】

現在、4台を担当しているので、各機械の状態をチェックシートに記入します。

●17:00 【退勤】

夜勤担当への連絡を済ませたあと、帰宅します。

納期が迫っている場合は残業することもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——工藤さんが地元の村山市で働こうと思った理由は何ですか？

住み慣れている地域ですし、自然が豊かな環境ですので、地元から離れることは考えませんでしたね。

——休みの日は何をして過ごすのですか？

土日は子どもの面倒をみています。家の周りは自然が豊かで、車の交通量も少ないので、子どもを散歩させたり遊ばせたりするときに、気を付ける点は都会よりは少ないのかなと思います。



——村山地域の中でよく行く場所がありますか。

家族で東沢バラ公園によく行きますね。

あとはラーメンが好きなので、村山市の中では、「山形麺屋 殿」というラーメン屋さんがおいしくておすすめです。たまに家族と行くこともあったのですが、今はコロナなので全然行っていませんね。



(5) まとめ編

——今後の目標について教えてください。

今後の目標は、いろいろな機械やラインを覚えることです。特に、今使っている NZX をまだ完璧に覚えていないので、今はそれを早く覚えたいですね。それに、会社としても多能工化を進めているということもありますし、今後は自分が先輩として後輩に教えていく機会も増えると思いますので。



ベテランの先輩には、どんな機械でも扱える人もいれば、1つの機械にとっても詳しい人もいます。私はどちらかと言えば、いろいろな機械をいじれるようになりたいなと思います。

——最後に、女性の活躍促進のために、どのような取組をしていますか。

笠原さん：製造業だと、「油まみれで機械を回してトンカチで叩いて」というイメージがあるかもしれませんが、実際は自動化された機械が多いし、女性のオペレーターもいます。男だ、女だと考える必要はなく、機械が好きな人だったらぜひ来てほしいと思いますね。

もちろん更衣室をきれいにするとかトイレを改修するとかといった働きやすい環境の整備はきちんと進めていきたいと思います。

——ありがとうございました！

工藤さんからは、機械が好きだという思いがとても伝わってきました。また、休暇がとりやすく、先輩に仕事も聞きやすいという、山形螺子工業の雰囲気や働きやすさがとても魅力的だと感じました。



【インタビュアー：

山形大学人文社会科学部

藤井遥香・久山拓真・長沼莉保】

山形螺子工業株式会社

★仕事も人生も、ワークライフバランスを大切にします。有給休暇完全取得を推奨しています。

名前も仕事も地味な会社ですが、社会にとって無くてはならない重要な部品を製造しています。油圧や空圧を利用して、小さな力で大きな力を生み出す部品であったり、ショックを軽減する部品であったり、品物を滑らかに搬送するための部品であったりと、陽の当たる場所にはありませんが、現代社会では当たり前動作をつかさどる基本的な部品です。自動化機器を駆使しながら月産 50 万個を製造しています。それらの部品は、サプライチェーンを通して、世界中の建設現場や製造現場、場合によっては災害現場で活躍しています。私たちは「世界の現場で働く」ことを誇りにしています。

★経営革新計画認定（2021.7）、健康経営優良法人 2021 認定、令和元年度事業継続力強化計画認定、経営力向上計画認定（2016.11）

- ・所在地 山形県村山市楯岡中町 4 番 25 号
- ・設立 昭和 36 年 7 月
- ・従業員数 74 名（男性 62 名、女性 12 名）
- ・URL <http://www.y-rashi.co.jp>